

潮音寺だより

第 274 号
平成 18 年 8 月
電話 052-671-4831
ファックス 052-671-4856

<ホームページ> <http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬 1 -10-11



潮音寺什物 天女図

自分にも

もちろん
他人にも

嘘を吐いては
いけません

吐いた嘘は
たとい
小さくとも

やがて燻り
燃え
そして炎上し

これまで
築いた信用を
すべて
焼き尽くす

虎の鈴

7月5日未明——地球の裏側では、米国がスヘースシャトル「コディスカバリー」を打ち上げて独立記念日を祝っていたが、その数分後——北朝鮮は独自のショーを行い、世界中の注意をべつと引き付けた。この孤立した国家は、唯一の同盟国である中国を含む世界各国からの度重なる警告を無視し、少なくとも2カ所から6発のミサイルを日本海に向けて発射した。発射されたのは、韓国を攻撃することが可能な短距離弾道ミサイル「スカッド」、日本を圏内に収める「フドン」、それに理論上は米国のアラスカ州や西海岸にも到達する能力がある長距離弾道ミサイル「テポドン201」なわけである。『英国工コノミスト誌』7/6付)

この件に関し、その後、国連安全保障理事会で北朝鮮非難決議が採択され、さらに、主要国(G8)首脳会議(サンクトペテルブルク・サミット)では、各国首脳が北朝鮮のミサイル発射の凍結や核開発の即時停止、核問題に関する6カ国協議への早期無条件の復帰を求めることでも一致したと、ニュースは伝えています。

日本にとって、この北朝鮮のミサイル開発問題は、隣国であるだけに、どうしてもナーバスにとらえがちですが、諸外国の見方は、「前時代的な経済と、エキセントリックな指導者を抱え、世間から隔離したような王国は、しばしば、恐ろしいといつよりも悲喜劇画的にさえ見える。多くの点で、北朝鮮はアジアで最も恐るべき国

ですらない。」『英国工コノミスト誌』7/6付)とか、米ハドソン研究所首席研究員の曰高義樹氏は、「ミサイル発射は北朝鮮の精いっぱいの抵抗で、独立記念日と重なったのも子供っぽいこだわり過ぎない。金総書記にもう打つ手はなく、これが滅しの第一歩。最後の打ち上げ花火。ミサイルの飛距離も発射数も、米国に反撃されないことを計算した最大限のもの。米国はもはや北朝鮮を相手にしておらず、今後は北朝鮮を擁護してきた中国との交渉に注目が必要だ」と指摘しています。

ともあれ、今後の北朝鮮は、金正日総書記という指導者の動向に注視していかねければならないことは確かです。そこで、興味深いエピソードを紹介します。

法眼文益(ほうがんぶんえき)という、中国唐代末、中国禅宗史に重要な役割を果たした、法眼宗の祖といわれる禅僧がある口の上堂(くわじやうだう)説法(せっぽう)で、弟子たちに「虎の頸に金の鈴が繫けてある。誰かこれを解いてやる者がいるか?」という問題を出しました。イソップ寓話(いそっぷうた)にも「鼠(ねずみ)が猫の襲撃に備えて、猫の首に鈴をつけよう」と話し合い、満場一致で賛成したものの、誰がその鈴を猫に付けるかの段になって、結局この案は「破算(はさん)となった」という、鈴を付けると外すの違いはありますが、よく似た話があります。

ただ、禅の問答(もんたう)（公案(こうあん)）は、分からないからという、「破算」というわけにはいきません。弟子たちは、真剣に考えました。しかし、誰ひとり答えることができません

でした。ちょうどそこに、泰欽(たいきん)という弟子が外から帰ってきて、すぐさま、「それは、繫けた者が解く」と答えたといっています。

なるほど、北朝鮮虎の頸の鈴は、動くたびに騒がしく、国連安全保障理事会、G8首脳、6力国協議で、寄って集って何とか外しにかかろうとしても無理なのは、そういうことだからでありましょう。銃を突き付けて外すという方法も無いわけではありませんが、それでは平和的問題解決にはなりません。やはり、鈴を付けた本人に、自分から外させる方策を考えるべきでありましょう。

さて、このよつなことは、国際情勢のような大きな問題はかりではなく、私たち個人の問題にも当てはめて考えることができます。

たとえば、私たちの心の中に飼っている虎の頸にも、鈴がついています。お金(かね)が欲しいという鈴、出世(しゅせ)したいという鈴、長生きしたいという鈴、逆に、早く死んでしまいたいという鈴等々、さまざま欲望(ぼらう)の鈴、はたまた、何かにつけて憤慨(ふんがい)ばかりしている怒りの鈴など、それはそれはたくさんな鈴をぶら下げています。それが、歩くたび、寝返りうってもガラガラ音を立てて、私(わたし)をも苦しめます。医者(いしや)に診(み)てもらっても悩みは解消されず、まして、サラ金の門を叩くようなことになれば、頸(くび)が折れるほど鈴の数が増えてしまいませう。それら悩ましい鈴の音を消すには、その鈴をかけた本人が、自ら外して捨てる以外、解決はしないという(じ)でありましょう。

お盆の行事お知らせ

◎精霊お迎え

○平和公園墓地 8月12日 午前6時～正午

○潮音寺納骨堂 8月13日 午前6時～正午

◎棚経

一心、例年どおりをお願いいたします。

ご無理を願う場合があるかもしれません。

その節はどうかよろしく。

◎盆施餓鬼会

8月19日(土) 午後1時30分～2時30分

お彼岸の行事お知らせ

◎彼岸施餓鬼会

9月23日(土) 午後1時30分～2時30分

◎工事状況報告

下の写真は、七月十八日現在の様子です。エレベーターは七月十四日から運行できるようにになりました。早速、法事の折に利用させていただきます。

渡していろいろと
なっております。

皆様の温かい
協力により、何とかここまで

着けました。本当に有り難ござ
いました。

▼山門に瓦屋根葺き、
夏の雨 沐魚

▼イガラ
今年も、また庭木の赤芽にイガラ、
笹にタケノホソクロバの被害にあつてしまいました。

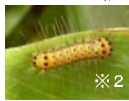
まだ、山門、
塀、参道、庭植
栽等がまだ残つ
ていますが、二
十二日検査、二
十九日には引き



雑記

▼イガラ

今年も、また庭木の赤芽にイガラ、
笹にタケノホソクロバの被害にあつてしまいました。



毎年イガラには、何度も刺されて痛い思いをしておりますので、可哀相ですが、今年はずいぶん早くに薬剤で退治させてもらいました。

それぞれ、結構愛嬌のある姿をしています。なかなか手強い相手です。

夏の雨 沐魚